

行政調査報告書「シティプロモーション・交流人口拡大特別委員会」

平成29年10月18日（水）～20日（金）

■兵庫県神戸市

『神戸コンベンションセンターについて』

本市では、大型コンベンションセンターの建設を単独で行うことは難しいが、県や民間と連携して産業イノベーションを起こすのは可能だと考える。交流人口の拡大、まちの活性化、新たな産業の創出など、本市に必要な要素を満たす事業で、実現の可能性を探っていききたい。



■大阪府大阪市

『ナレッジキャピタルについて』



当施設には、大小のオフィス、ショールーム、シアターなどの人が交流するための施設が揃っていた。「感性」と「技術」の融合で新たな価値を創造するというコンセプトを取り入れ、人と人、人とモノ、人と情報をうまくつなげ、本市における新たな産業創出を行い、安城版ナレッジキャピタルを実現したいと強く感じた。

■山口県下関市

『^{しんむくの}新棕野土地区画整理事業における商業施設誘致について』

下関市では、組合を主軸に個人、公共団体等が土地区画整理事業を施行していた。組合施行で事業を行う場合は、大規模区画を作り、民間企業を誘致するのが有利であるし、まちの活性化にもつながることが分かった。

